**「南河内農とみどりのミュージアム」（平成３０年３月改正）に基づく**

**資料６**

**平成２９年度の取組**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | | | 今年度取組 | 実施の有無  ○：実施  ×：未実施 |
| １　地域力アップに向けた府民協働の推進 | ①棚田保全等に向けた支援組織の育成  ・棚田ボランティア組織の育成・強化  ・援農支援組織の支援 | [○棚田・ふるさと保全活動支援](http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/k_tanada.html) | 生産条件の不利な棚田において農家と地域住民が協力して行う保全のための活動を支援  棚田ファンクラブに登録している府民ボランティアを呼び込んで棚田保全活動を行うとともに、都市住民と地元農家の交流を促進  また、下赤阪においてクラウドファンディングによる新たな支援策の導入 | ○ |
| [○多面的機能支払事業を活用した農空間保全活動支援](http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/k_tamentekishiharai.html)  [・どじょうプロジェクト](http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/k_dojoup.html) | 地元農家と地域住民、ＮＰＯ、学校等多様な担い手が協力して行う農空間保全活動を支援  また、河内長野市においてドジョウプロジェクト(休耕田を利用したドジョウの飼育)の試行実験 | ○ |
| [○農空間づくりプラン事業を活用した地域活動の支援](http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/k_dukuriplan_uresi.html) | 地域の農家・非農家等が協力して策定した計画に基づく農空間保全活動を支援 | ○ |
| [○「太子町ふどう塾」開催](http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/f_budouzyukusyukka.html) | 太子町においてぶどう園の遊休農地化を防ぐため、H12年から農の普及課と太子町、大阪南農協が連携して「ぶどう塾」を開催、H２５年にはＮＰＯ法人「太子町ぶどう塾」が発足し関係機関と連携して開催、担い手育成を図っている。今年度からＮＰＯが主体となり、「太子町ぶどう塾」を開催。その中で座学について農の普及課が担当する（ぶどう塾13回、うち座学２回）。 | ○ |
| [○ぶどう援農隊の活動支援](http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/f_budouzyukusyukka.html) | 「南河内ぶどう塾」の修了生でH14年に「南河内ぶどう塾援農隊」が結成され、ぶどう園の復元や農作業の手伝いを実施、H20年には新規就農者も誕生。販売イベントのコーディネート等でＮＰＯの体制を支援する。 | ○ |
| ②地域特性を活かし持続可能な地域保全の推進  ・生物の多様性に配慮した保全活動の推進、援農受け入れ体制の整備等  ・いちご、ぶどう、難波葱など、地域特産品の振興による地域の保全・活性化 | [○大阪府アドプトフォレスト制度の活動支援](http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/r_adopt.html) | 地球温暖化防止や生物多様性確保のため、大阪府が企業等の事業者と森林所有者の仲人となり、事業者が事業者は間伐や植樹、下草刈りなど森づくりの活動を実施。タカシマヤ一粒のぶどう基金、三洋商事株式会社、有限会社憩暖、ＮＴＮ株式会社・株式会社ＮＴＮ金剛製作所、ＪＸＴＧエネルギー株式会社、公益財団法人ニッセイ緑の財団による森づくり活動を支援（１１回実施予定）。 | ○  ７回活動支援  ×  ４回雨天中止 |
| [○ため池環境コミュニティ活動等への支援（狭山副池、伊賀今池、下印池）](http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/k_tameikesyoukai.html) | ため池、水路など貴重な水辺環境となっている農業用施設を守り、活かし、学ぶための地域活動を支援 | ○ |
| ○高収益を目指す南河内戦略作物「イチゴ」を活用した「南河内いちごの楽園プロジェクト」 | 新規就農者の育成・確保によりいちごを産地化するとともに、いちごの観光農園化等により地域の魅力づくりを行う。  ・次世代人材を育成する、実践型農業塾「いちごアカデミー」の開催  ・大都市らしい販売戦略の展開支援  （ブランドネーミングの公募、ＰＲイベント「いちごの楽園ＳＷＥＥＴＳフォーラム」の開催など）  ・シンボル「いちごタワー」の設置支援　など | ○ |
|  |  | ○「ぶどう山再生プロジェクト」 | 大阪府「戦略作物」であるぶどうの生産振興を図るため、①農道の整備、②荒廃園地の更地化、③最先端技術（高品質化・省力化）の導入、④大粒系品種の導入促進、⑤トップリーダーの育成、⑥新規就農者の確保、⑦シャインマスカットのブランド化に向けた取組を行う。 | ○ |
| ○「難波葱プロジェクト」 | なにわの伝統野菜への新規認証を契機に、難波葱の生産安定、認知度向上を図り、新たな特産品化を図る。  ・生産者への働きかけによる生産者増加、生産量増加  ・栽培時期の拡大による生産安定  ・難波葱フェスタ開催によるＰＲ | ○ |
| ③多様な主体の連携による取り組みの推進  ・農産物の直売や棚田のライトアップ等  ・滝畑ダムと市町村、地元酒造メーカーが連携した地酒の熟成 | ○「金剛山の里　棚田夢灯り＆収穫祭」の開催（下赤阪） | 多様な団体、地域住民、府民が連携して、灯ろうによる棚田のライトアップ、地元農産物・特産物を販売する収穫祭を開催11/11に開催予定 | ×  台風２１号  災害の影響により開催中止 |
| [○滝畑ダムと地元酒造メーカーが連携した地酒熟成検証の実施](http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/damsake.html) | 滝畑ダムを活用し、観光資源の一つとなる地酒の熟成について、民間企業と連携・協力し、検討していく。 | ○ |
| [○農空間保全活動の支援（河南町かうち地区）](http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/k_dukuriplan_uresi.html) | 地域の農家・非農家・専門学校生等が協力して策定した計画に基づく農空間保全活動を支援 | ○ |
| ○ 朝市祭「みな・さんマルシェ」開催 | 南河内管内の朝市・直売所が、品揃えの充実や品質向上等の共通した課題解決や相互連携によるＰＲを図るため、平成15年に南河内産直ネット（み・な・さ・んネット）を組織し、毎年１回「朝市祭」を開催 | ×  雨天中止 |
| [○農空間なっとく出張教室の実施](http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/k_h28syuttyou.html) | 身近にある農空間で子どもたちが学び、活動する取り組みを支援 | ○ |
| ○「南河内ほわ～っと流域ネットワーク」の活動支援 | 石川流域での活動の共有・協力をすすめ、自然と人の共生を可能にする流域の暮らしと文化を創造するため、水辺の生き物水族館、流域秋のこどもまつりなどの実施を支援 | ○ |
| ○石川河川公園「地域とつながり成長する」協議会への参加 | 石川河川公園の快適で安全な利用の促進を図るとともに、公園の利用促進を契機とした地域活性化へ寄与するため、地域の歴史・文化観光資源の紹介や地元イベントその他情報の共有・照会、共同イベント等の企画・実施・広報活動等を協議 | ○ |
| ○森林環境学習 | 従来から間伐体験を実施している小学校の５年生を対象に、間伐に併せて木工教室を開催することにより、地域の森林・林業・木材についての理解を深める支援を行う。 | ○ |
| ２　ストックのネットワーク強化 | ①ストック間の連携強化  ・地域資源を活用し、地域・農林業活性化を図るためのスタンプラリー等の実施  ・奈良・和歌山県との連携によるダイヤモンドトレールを軸とした周辺ストックの利活用の推進  ・各市町村等で設定したハイキングコースを集約し、情報発信 | [○南河内「大阪産（もん）めぐり」スタンプラリーの開催支援](http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/t_2017stampkekka.html) | 南河内の農林水産物等に親しんでもらうため、南河内農とみどりのミュージアム構想「大阪産（もん）めぐり」実行委員会が、大阪産（もん）を扱う農産物直売所や飲食店、農林関係施設等をめぐるスタンプラリーを開催。 | ○ |
| [○ダイヤモンドトレールポイントラリーの開催支援](http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/t_daitoresekiban.html) | ダイヤモンドトレール活性化実行委員会が、ダイヤモンドトレール及びそのアクセスルートを活用したポイントラリーを開催  ・ダイヤモンドトレール縦走石板めぐり  ・ダイヤモンドトレール周遊めぐり | ○ |
| ○ダイトレ・ウォークの開催支援 | ダイヤモンドトレール活性化実行委員会が、ダイヤモンドトレールのコースにある５つの山の１つとその周辺にある地域資源を巡る１日イベントを開催。 | ×  雨天中止 |
| [○各市町村等で設定したハイキングコースを集約し、情報提供](http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/r_daitore.html) | ダイトレに関する情報提供を府のHP、市町村HP間で相互リンクを図る。  次に、市町村観光協会等団体に対し、HP間での相互リンクを働きかける。 | ○ |
| ②南河内グリーンロード等を活用したネットワーク強化  ・南河内サイクルラインやグリーンロード、滝畑ダム周回道路などを活用したサイクリング利用の促進 | ○滝畑ダム周回道路の開設 | これまで、滝畑ダムでは右岸管理道路の車両、バイク乗り入れを禁止していたことから、自転車による滝畑ダム湖周遊はできなかったが、河内長野市と協議し、河内長野市が自転車ゲート、安全施設等の施設を設置し、府が使用許可することで、自転車の周遊を可能とする。 | ○  3/10出発式開催 |
| ３　情報アウトプットの強化 | ①事務所ＨＰを活用した一体的な情報発信  ・ＨＰやブログの開設運営によるタイムリーな情報（旬の農産物、イベント等）の発信 | ○ＨＰによる旬の農産物やイベント、地域活動等の情報発信 | 事務所のHP（ホームページ）を活用し、南河内管内で生産される旬の農産物や農の情報、イベント、農空間の保全に関する地域の活動等を、幅広く情報発信 | ○ |
| ②多様な主体と連携した情報発信の強化  ・電鉄広報誌等の活用や、府企画観光課・大阪観光局、市町村観光協会等との連携による多様な媒体（ＳＮＳなど）を活用した広報の実施 | ○多様な媒体(ﾌｪｲｽﾌﾞｯｸ、メールマガジン等)を活用した広報の実施 | 南河内の魅力を多くの人に知ってもらい、訪れてもらうため、府企画観光課・大阪観光局、市町村観光協会等、多様な主体と連携し、フェスブックやメールマガジンや新聞・テレビ等、多様な媒体を活用した広報を実施 | ○ |
| ○電鉄広報紙等を活用した広報の実施 | 電鉄広報紙、フリーペーパー等、民間の広報紙による情報発信を実施 | ○ |
| ③既存ストックを活用した情報発信  ・滝畑ダムを活用した学習イベントの開催 | [○クール＆パワースポット「滝畑ダム探検」の開催](http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/d_damutankenh29.html) | 盛夏でも約20℃の「ダム監査廊」探検や地域の歴史資源である「磨崖仏」の見学、ダムの役割を学習するイベントを開催（１０回、各回２５名） | ○ |